

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道210号 <small>うきは</small> 浮羽バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局								
起終点 起点： <small>ふくおかけんくろめしたぬしまるまちかみはる</small> 福岡県久留米市田主丸町上原 終点： <small>ふくおかけんうきはしうきはまちやまきた</small> 福岡県うきは市浮羽町山北	延長 14.0km									
事業概要 国道210号浮羽バイパスは、福岡県久留米市～うきは市間の交通混雑の緩和や交通安全の確保、さらには地域活性化の支援を目的とした延長14.0kmの道路である。										
S48年度事業化		H一年度都市計画決定								
S52年度用地着手		S54年度工事着手								
全体事業費	約276億円	事業進捗率								
83%		供用済延長								
11.6km										
計画交通量 9,600～27,400台/日										
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> B/C <small>(事業全体)</small> </td> <td style="text-align: center;"> 1.4 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <small>(残事業)</small> </td> <td style="text-align: center;"> 3.9 </td> </tr> </table>	B/C <small>(事業全体)</small>	1.4	<small>(残事業)</small>	3.9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> </td> <td style="text-align: center;"> 63/458億円 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 事業費：34/384億円 維持管理費：29/74億円 </td> <td></td> </tr> </table>	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	63/458億円	事業費：34/384億円 維持管理費：29/74億円	
B/C <small>(事業全体)</small>	1.4									
<small>(残事業)</small>	3.9									
総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	63/458億円									
事業費：34/384億円 維持管理費：29/74億円										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> </td> <td style="text-align: center;"> 244/619億円 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 走行時間短縮便益：216/509億円 走行経費減少便益：25/96億円 交通事故減少便益：3.5/15億円 </td> <td></td> </tr> </table>		総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	244/619億円	走行時間短縮便益：216/509億円 走行経費減少便益：25/96億円 交通事故減少便益：3.5/15億円		基準年 平成23年				
総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	244/619億円									
走行時間短縮便益：216/509億円 走行経費減少便益：25/96億円 交通事故減少便益：3.5/15億円										
感度分析の結果										
【事業全体】 交通量：B/C=1.2～1.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.3～1.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.4（事業期間±20%）		【残事業】 交通量：B/C=3.5～4.2（交通量±10%） 事業費：B/C=3.7～4.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.9～3.9（事業期間±20%）								
事業の効果等										
①交通混雑の緩和 ・国道210号（現道）の交通混雑の緩和 ・国道210号（現道）の旅行速度の向上 ②救急医療活動の支援 ・うきは市から第二次医療施設（久留米市）への救急搬送の支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮 ③交通安全性の向上 ・国道210号（浮羽バイパス並行区間）における死傷事故件数の減少 ・国道210号（浮羽バイパス並行区間）における死傷事故件数の減少により交通安全性が向上 ④沿道環境の改善 ・自動車交通騒音の低減 ⑤地域コミュニティの活性化を支援 ・道路空間を活用したイベントの開催 ・地域参加や連携意識の高揚に寄与										
関係する地方公共団体等の意見 久留米市、うきは市、久留米市議会、うきは市議会で構成される一般国道210号改良促進期成会や久留米地方拠点都市地域整備推進協議会（会長：久留米市長）等より、早期整備の要望を受けている。（平成22年11月）										
県知事の意見 一般国道210号は、久留米市から筑後北部地域を東西に横断し、大分市に至る区域的な幹線道路であるとともに、沿線地域の生活基盤である。 浮羽バイパスの整備により、地域間交流や沿線生活の利便性・安全性が向上するため、今後も必要な区間の供用を図りながら、計画のとおり事業を継続すべきと考える。										
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 うきは市の世帯あたりの自動車保有台数は福岡県及び九州を大幅に上回っており、通勤通学時の自家用										

車の利用割合も約6割が自家用車利用と自動車への依存が高い。
また、国道210号（現道）の混雑度は依然として高い状態（混雑度：1.32）。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成22年度末の事業進捗率は事業費ベースで約83%であり、そのうち用地進捗率は約85%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるよう、引き続き用地買収を促進するとともに、田主丸地区の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・埋蔵文化財調査の追加【約2.7億円増】
- ・橋梁構造から大型プレキャストボックスカルバートへの変更による減【約0.3億円】

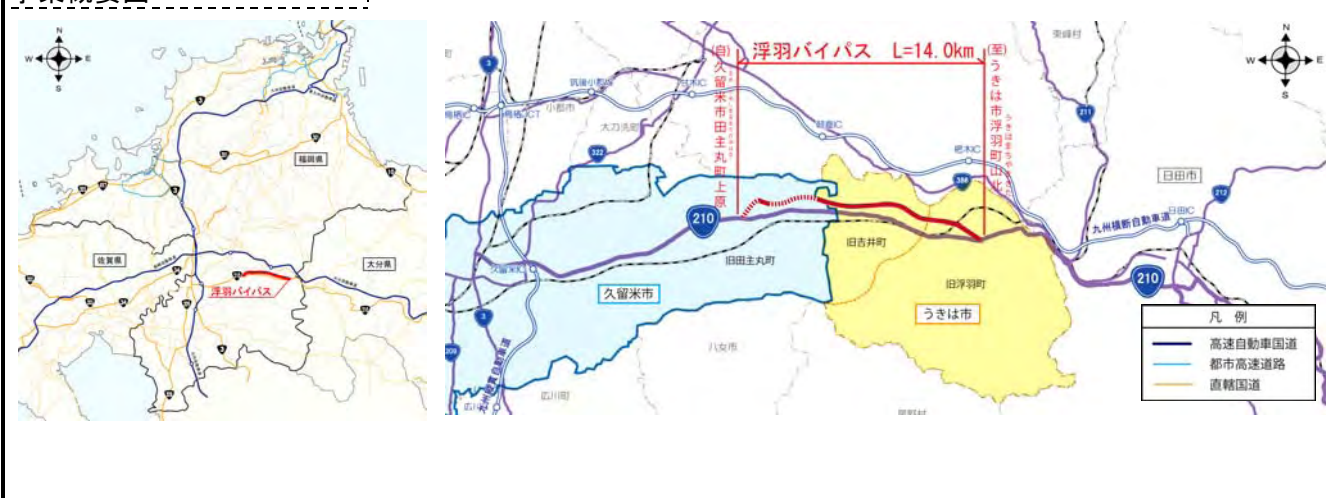
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。